SMAC ハンドブック

スタート・準備について

- 無線機の受信、ボリューム確認。
- ビーコンの電源を入れ、液晶画面と電池残量（60%以下で電池交換）を確認しリーダーに報告。
- ビーコンダブルチェック
  ①リーダーは送信、メンバーは受信。受信者は身体の前に水平に構える。
  ②その場で 90°以上向きを変え、矢印、距離、ビープ音の変化があり正常に動作しているか確認。
  ③メンバー全員の確認作業終了後、全員同時に受信に切替えホルダーにしまう。
- ビンディング、流れ止め確認。
- 行動予定確認。

無線機の取り扱いについて

- デュアルバンド無線機（マイク付）とトランシーバー（イヤホンのみ）の 2 種類を使用する。
- 通信確認をスタート時、始動時（滑走前）などその都度行う。
- 受信できない場合は、バッテリー不足、ボリューム低下、イヤホンのジャック不良（抜け）・接触不良・装着不備、周波数変更、スイッチオフなどを確認。

デュアルバンド機の使用注意事項

＝バックパックを背負う、前かがみになる動作に起因する様々な問題点

- ボタン突起から引き起こされる誤作動（ロック解錠、周波数変更）
- マイク送信ボタンの接触による不必要な送信。
- アンテナの曲がり、ゆるみ紛失。

捜索・救出方法について

- 二次災害の可能性を考慮し、捜索・救出作業を行うか判断する。
- 単独捜索：プローブを準備してから、ビーコンを受信にし、埋没範囲 50m 以内へ移動。ピンポイントサーチで地点を特定する。スパイラルプローブサーチで地点を確定し、プローブを刺したまま、ショベルを準備し掘削を始める。
- 複数人捜索：全員のビーコンを受信にし、役割（捜索チーム、救助要請、状況分析）を分担する。捜索チームは、50m 間隔でビーコンサーチからピンポイントサーチを行い、タイミングを見てリグループを行いプローブ、ショベルの役割分担をして埋没地点確定からＶ字ショベル掘削を始める。